

意思疎通図り無災害に

平田建設 安全大会



【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は19日、土幌町総合研修センターで2024年度安全大会を開催した。協力会社を含め約90人が参加。無事故・無災害の継続に向け、労働災害や交通安全に関する講演に臨んだ。

長谷川社長「写真」は時間外労働の上限規制や本年度の安全衛生目標などに触れ「協力会社の皆さんと意思の疎通を図って、現場に

おける安全管理や工程管理状況の共有化に努め、労災を未然に防止することが建設業としての責務」と強調。無事故・無災害の継続に向けて、関係者と共に安

全第一を基本として働き方改革の時代変化に即応できる体制を築くことを誓った。引き続き、帯広労基署の鍋岡順子署長が「建設業における労働安全衛生等について」、帯広警察署土幌駐在所の鈴木晶之警部補が「交通事故防止に向けて」と題して講話した。

況に触れ、事故の型別では墜落・転落災害、年齢別では高齢者の割合が高いことを指摘。それを踏まえた安全管理やパトロールに取り組むよう求めた。このあと、今野敦常務執行役員が本年度の業務全般への取組について説明したほか、土木部の八代道隆氏が安全宣言。無事故・無災害の継続に向けて安全意識の高揚を図った。